

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月31日

事業所名：ことば療育ルームいろは

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	83%	17%		・活動スペースの基準を満たしております。職員への周知が十分でなかったため、今後改めて周知します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	83%	17%		・活動スペースの基準を満たしております。職員への周知が十分でなかったため、今後改めて周知します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100%	0%	・活動に応じて空間を区切ったり、活動の流れを視覚的に提示したり、構造化を行っています ・玄関に段差があるが車椅子の方の利用は今のところない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	83%	17%		・半年に1度、職員面談を実施し、半年間の振り返りや目標設定等を行っています。
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	67%	33%		・定期的な職員満足度アンケートや面談等を通して把握した意見を踏まえ、現状について説明したり、業務内容を変更したりしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17%	83%		・ファミリアとして、第三者委員会による外部評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	83%	17%	・分野別の勉強会が定期的に行われています	・各委員会による研修や専門職種ごとの勉強会を実施しています。充実した研修を実施できるよう、適宜、研修内容を見直していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	83%	17%		・HP上で公表しております。職員への周知が十分でなかったため、今後改めて周知します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（以下、個別支援計画）を作成しているか	100%	0%	・個々のお子さまのニーズに合った計画を立案できるよう、専門的なアセスメントや面談を大切にしています	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	100%	0%	・どのような支援を行うことがお子さまの幸せに繋がるか、さまざまな視点で検討しています	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	100%	0%		
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいおよび支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%		・児童発達支援管理責任者や担当職員を中心にモニタリング等を通して話し合い、統一した支援を行うことができるよう取り組んでいますが、より多くの職員が参加できるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%		・当施設の特性上、個別プログラムが中心となっていますが、お子さまの課題に応じて臨機応変に対応しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか	100%	0%	・基本的には個別での活動が多いですが、お子さまの課題に応じて小集団活動も行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	83%	17%		・職員で支援内容や役割分担を話し合いながら、スケジュールを作成し支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%		・勤務時間の都合上、全員での振り返りが難しいため、チャットツールを使用し情報共有を行っています。

	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	83%	17%		・活動スペースの基準を満たしております。職員への周知が十分でなかったため、今後改めて周知します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%	・支援の検証、改善にまでは繋がっていない	・支援中の様子は記録に残し、次に療育に入る職員が前回の様子や経過を確認できるようにしています。 ・アセスメントやモニタリングの際には、記録を基に次期の計画立案に反映しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がなされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	67%	33%		・個別支援計画作成時にお子さんの意向を反映したり、療育に希望する課題を取り入れたりしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか	100%	0%		
	27	地域の保育、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%	・高校生の利用がないため、放デイからの移行は経験がない	・現在は対象の方がいませんが、必要に応じて情報提供を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	67%	33%		・就学前の情報提供書の作成や必要時の情報共有を行っています。 ・各種会議等を通して、相談・連携しやすい環境づくりに努めています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	0%	100%		・特別に機会を設けた交流は行っておりませんが、ご希望に応じて検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	67%	33%		・管理者等が参加していますが、職員への周知が不十分であったため、改めて共有する機会を設けます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	83%	17%		・プログラム形式ではありませんが、療育や面談の際に関わり方等について情報提供を行っています。
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%		
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	100%	0%		
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩みに対する相談に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援しているか	17%	83%		・現在、保護者会等は開催しておりません。ご希望に応じて検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	100%	0%		
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	100%		・現在、行事は予定していませんが、ご希望に応じて検討します。

	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	83%	17%		・活動スペースの基準を満たしております。職員への周知が十分でなかったため、今後改めて周知します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な処置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	67%	33%		・管理者等が参加していますが、職員への周知が不十分であったため、改めて共有する機会を設けます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	83%	17%		・身体拘束適正化検討委員会を設置し、定期的に会議を実施しています。保護者の方へは、身体拘束が必要と判断された際に説明を行い、同意を得る流れとなっています。職員への周知が不十分であったため、改めて共有する機会を設けます。